

# 梅林

熊谷九寿

制作年：1939(昭和14)年

サイズ：112.0×145.5cm

材質：油彩、カンヴァス

所蔵：中津市木村記念美術館

1993(平成5)年中津市に寄贈される。



「柘榴」と同じく資生堂での初個展に出品されました。模糊とした陽のあたる大地から、梅の黒い樹幹が青い空に向かってうねうねと伸び、地面には黒々とした影が走ります。画家の主眼は、樹木の持つ逞しい生命力に向けられているようです。当時の展覧会評では「「梅林」などは氏の独自の境地の深さと巾を語ってみると思ふ」（江川和彦「熊谷九寿個展」みづゑ411号、昭和14(1939)年4月）とあり、熊谷の風景を見る眼の独自性が伝わっています。